

9月のカンパラは雨期です。今までのところ激しい嵐の夜もありましたが比較的柔らかな雨が続いています。

9月26日も、「全国清掃の日」が実施されました。首都カンパラでは朝7時から10時まで市内の清掃が各所で行われました。地方都市での取り組みも徐々に本格化してきています。



〔市内の清掃の様子〕

1、ハシビロコウを巡り日本の上野動物園と交流

大使館のソーシャルメディアで当館マスコットのハシビロコウが活躍している事は5月号のこのコラムでも取り上げました。ちなみに、名前はコウタロウといいます。



日本の上野動物園でハシビロコウが大変人気を得ていることを知りました。ハシビロコウの乗り物もあります。またハシビロコウ推しの方も大勢おられるとのこと。交通安全の啓発にもハシビロコウが登場します。小池知事もハシビロコウとニュースに出ておられました。

大使館も早速、上野動物園とコンタクトしました。お互いのソーシャルメディアを関連づけたり交流していきたいと思います。ウガンダではハシビロコウは野生で生息しており、保護されている地区もあります。ウガンダの方から珍しい野生のハシビロコウの親子の写真をいただきました！親子の写真はXにも投稿しましたが、たくさんの方にご覧いただき、23万を超えるアクセスを獲得しました。

ハシビロコウを巡って日本とウガンダの関係の裾野が広がることを期待したいと思います。



[ウガンダのハシビロコウの親子(写真: Bic Tours 提供)]

2、Roofings 社の新設備落成式

今年のコラム2月号でウガンダの最大手鉄鋼加工メーカーである Roofings 社の活動を紹介しました。8月25日、同社の新設備が完成し記念式典が同社工場のあるカンパラ郊外のナマンベ工業団地で実施されました。

式典の主賓はムセベニ大統領です。ウガンダ政府より貿易・産業大臣、財務大臣、エネルギー大臣をはじめ経済関係の主要閣僚が勢揃いしました。ウガンダ政府の製造業育成への意気込みが感じられる式典となりました。

日本からは日本製鉄、伊藤忠丸紅鉄鋼の幹部が式典に駆けつけられました。この2社は長く Roofings 社とビジネスを行っています。大統領やラニ・Roofings 社会長からも両社に感謝の表明がありました。

アフリカにおける鉄鋼の使用量は右肩上がりで伸びてきています。それでも先進国の使用量にはまだまだ及びません。国全体の発展に鉄鋼のような基本資材がますます必要となるのは明らかです。環境保全と両立し持続可能な発展がここウガンダでも進むことを期待したいと思います。



[式典の様子]

3、豊田通商 村上晃彦会長のウガンダ訪問

豊田通商は「With Africa, For Africa」を掲げ日本の大手商社の中で唯一アフリカに特化した事業本部を有している企業です。アフリカに強みを持つ CFAO 社を子会社とされ、アフリカ全域にビジネスネットワークを張り巡らせています。

2022 年に就任された村上会長はウガンダに出張されるのは初めてということです。今回ケニアからはじめてウガンダに足を伸ばされました。

豊田通商のウガンダにおける事業は、モビリティのほかヘルスケアやエネルギーなど多岐に及びます。今回は特に送変電所の進展状況を視察されました。

[注:ウガンダの送電線網整備:ウガンダの電力供給の安定化や効率化を目指した電力送電系統の保護、能力向上のプロジェクト。カンパラ首都圏のほか地方の送電線網整備も進んでいる。このコラム 2025 年 11 月号もご参照ください。]

大きなポテンシャルを有しながらも、同時にリスクも存在するのがアフリカビジネスの現状です。その中で着実な成果を挙げられている代表的な日本企業である豊田通商の今後のアフリカでのさらなる事業展開を大使館としても支援していきたいと考えています。



〔豊田通商グループの皆さまと〕

4、外務省高橋美佐子アフリカ部長の来訪

9 月末に外務省で日本の対アフリカ外交を統括するアフリカ部の高橋美佐子部長がウガンダに出張し、大統領をはじめウガンダの要人と意見交換を実施しました。

昨年横浜において TICAD9 が開催され、ウガンダからアルポ副大統領を団長とする代表団が参加しました。今年 5 月の大統領就任式には大西政務官(当時)がウガンダに出張され式に列席されました。また茂木外務大臣は今年 5 月にウガンダの隣国ケニアを含むアフリカ4か国を訪問され FOIP の進化について説明されるとともに、対アフリカ外交の 3 本柱(「平和大陸アフリカの実現」「アフリカと日本の成長の好循環」「次世代の共創による誰もが豊かさを実感できる社会の実現」)を発表されています。

今回の高橋アフリカ部長の訪問はこのような大きな流れを受けてウガンダとの関係を発展させていくのが目的です。ムセベニ大統領を表敬し二国間の今後の大きな方

向性について議論しビジョンを共有することができました。大統領府で実施されたこの表敬にはナバンジャ首相や主要な閣僚も同席し、充実したものとなりました。

今回の訪問を受けて具体的なプロジェクトをさらに実施していきたいと思います。
(以上)